

テアトル9ニュース



署名活動を拡げて、新しい民主主義を育て、
「戦争をする国づくり」を阻止しよう

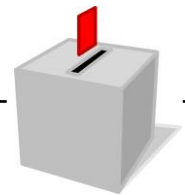
昨年9月19日に強行「採決」した安保関連法が3月29日に「施行」
されました。安倍首相は、在任中には憲法を改正すると意気込んでいます。

とりわけ、前回の世話人会で坂本弁護士から学んだ「お試し改憲と言われる」「緊急事態事項」は、演劇鑑賞運動団体や劇団にとって、表現や結社の自由が制限されていく怖さをもって、その兆候はすでに、「電波の停止」発言に象徴的にでていますように、メディアには自粛や委縮が広がり、民主主義の危機、メディアの死滅すら言われています。

今年の総会議案書にも書かれていますように、シールズやママの会など市民の動きは新しい民主主義の創造として、「戦争法」廃案はもとより、立憲主義、民主主義の構築として新たな歴史を生み出そうとしています。そして、総会では、「戦争法」阻止にむけての署名活動をしようと決議されました。

私たち会員1人ひとりが、自発的に自主的に自分の言葉で署名を働きかけていく、そのことは、「毎月19日各劇団所在地、舞台表現者居住地にて、それぞれの意思を表明する“サイレントスタンディング行動・・・”（俳優座コメディアン）にも連帯し、今も持続した運動を続けているシールズやママの会たち市民にも呼応し、なおかつ、戦争法を廃案にし、表現の自由の守り、新たな民主主義を創造していく運動に繋がっていくものと思います。そしてこの広がり、必ず演劇鑑賞運動の未来にも繋がっていくものと確信します。

最後に、鶴山仁さん（文学座・演出家）の言葉を届けます「70年と言う年月に育まれた様々な繋がり…それが次の10年、50年、70年にどう繋がるのか。芝居作りを通じて、今年もまた考え続ける…」（悲劇喜劇3月号）。（ちかまつ 米田哲夫）



～ 参院選4党連携拡大に寄せて ～

3月28日参院選一人区で、野党連携が正式に合意できたのは32選挙区中8選挙区（青森、宮城、栃木、長野、徳島・高知、熊本、宮崎、）沖縄）でした。それが、1週後の4月3日には、山形、新潟、福井、山梨、鳥取・島根、山口、長崎が加わり、ほぼ倍増の15選挙区になりました。残り10選挙区で協議中、7選挙区では難航とのことですが、このニュースが届く頃にはもっと広がっているかもしれません。

「世界」別冊 No881（岩波書店）で志位和夫（日本共産党）×小沢一郎（生活の党）の特別対談が掲載されていました。小沢氏「この二人での対談なんて、かつては考えられない事でしたよ（笑い）」4党連携は、この会談がきっかけになったと伝えられています。自公等の憲法破壊勢力に対する、素晴らしい決断だと思います。

全国すべての弁護士会が立ち上がり、学生の会 SEALD s やママの会が普通の願いとして立ち上がったのも大きな後押しになったのだと思います。ただ民進党の一部の議員や連合の幹部のなかには共産党との連合に抵抗を示していますが、先日の「九条の会・ひがしなだ」記念公演の中での小林節先生の答えは明快でした。『彼らは今の既得権に満足しており国民の立場に立っていない』と。

民進党の結成大会でシールズの奥田愛基さんは『先ほど国民の政治離れをどうにかしなければならぬと（連合の）神津会長がおっしゃっていましたが、僕が中央公聴会でスピーチしたときに、僕の目の前の与党の議員の方は寝ていました。果たして国民の政治離れなんですか。それとも政治の国民離なんですか。僕はこの国に生きる一人の人間として、この国の責任を引き受けたいと思います』と話しました。上からの目線ではなく、私たち一人一人がこの国の責任を引き受けなければならないときが来たのだと思います。（ハーモニー 広沢正雄）

～ お芝居と平和 ⑮ ～

心に残る『瀋陽の月』

就職した時は高度成長期の始まりで、給料も数年は予想をはるかに超えて上がった。神戸労演に入ったのはそんな時だった。当時は月1回例会があり、いろんな芝居を観ることができて、心に宝物をいっぱいもらったようで、つくづく良い時代を過ごせたと思っている。生き方を模索し始めた時期で、芝居を通して歴史を知り、刺激を受け、感動し、考えさせられた。そろばん、電卓、計算尺、製図板、手作業で仕事をしていたのが、徐々にコンピューターへと代わり、今では仕事の処理能力は比べ物にならない。だから仕事をする時間はもっと短縮され自由な時間が増えると思っていたのに、逆に増え苦痛になっている。止まることのない競争、経済戦争の渦中にある。「平和でこそお芝居が観ることができる」と言われるが、その言葉が知識から実感に変わってきたのは最近かな。一応まだ「平和」な現在の社会を取り巻く状況と、若い時とを比べてみても、観劇条件がとてもしんどくなってきている。消費税増税、非正規雇用、長時間労働、福祉の後退と、生活そのものが脅かされ、劇場、ホールの閉鎖も相次ぎ、豊かな文化を享受することは困難な状況だ。政治的解決なしには実現しないと痛切に感じるようになった。演劇人は「非戦を選ぶ演劇人の会」を作って行動している。

神戸演鑑で、さまざまな角度から平和について訴えた作品を観てきた。劇団が平和と真摯に向き合ってきたのが分かる。そんな中とりわけ印象深いのは『瀋陽の月』だ。松山政路演じる残留孤児となった男が、明るく日々を生きている健気さによけい悲しみが心の奥深く伝わってきて、しばらく席を立てなかったのを覚えている。戦争はしてはいけないと心に強く刻まれた。

(子ブンナサークル 桑原恵子)

戦争をさせない、9条壊すな！5・3兵庫憲法集会

5月3日(祝・火) 三ノ宮東遊園地 14時～

※ 元広島市長 秋葉忠利さんがスピーチします！
花時計前に13時30分集合 一緒に参加しましょう！

例会場「テアトル9コーナー」に
お立ち寄りください！

テアトル9グッズ、また賛同者の方には
ニュースをご用意しています。カンパも大歓迎！

「憲法に緊急事態条項は必要か」

永井幸寿著



今、憲法に緊急事態条項を創設しようという声が上がっています。緊急事態条項とは災害などの非常事態に憲法を停止し、内閣に権力を集中させ、事態に迅速かつ効率的に対処しようというものです。けれど、本当にそんなものが必要なののでしょうか？むしろ、憲法がせっかく分散させて権力を一極集中させれば、濫用のおそれはないのでしょうか？この本を読めば、緊急事態条項の全てがわかります！

岩波出版 620円

劇団あすわか兵庫(明日の自由を守る若手弁護士の会兵庫支部内の有志で作った劇団)が5月5日13時半から、姫路市民会館大ホールにて、緊急事態条項をテーマにした『憲法が昏睡るまで』という劇を上演します。ぜひ、ふるってご参加ください



「辺野古」にカンパを送りました！

いつもカンパにご協力ありがとうございます！
3月10日、テアトル9から2度目のカンパを送りました。今回は、おかげさまで3万円送ることができました。

新基地建設反対名護共同センターからは、さっそくお礼状とニュース、「美ら海辺野古」というDVDが届いています。ご覧になりたい方は、世話人までお声をかけてくださいね！

そして、テアトル9では引き続き応援していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願い致します。(児玉)

お芝居大好き！九条の会～テアトル9って何??

2004年、井上ひさし、大江健三郎等9名の著名人が日本国憲法九条を守る「九条の会」を結成。その呼びかけに応え、演劇鑑賞会の会員有志で2005年「お芝居大好き！九条の会～テアトル9」を作りました。

月1回世話人会を持ち、ニュースを発行しています。興味のある方は、一緒にしませんか？下記世話人までご連絡を

児玉 090-8209-2391 米田 090-8658-8579
谷中 090-2101-4579 田中 090-8493-3378